

## 5. アルバイト店員 D(19 歳・大学生・フロア/洗淨)

- 独身
- **【隠された背景】:** 救急車が来て、騒然となり、もしかしたら、自分も被害に遭ったかもしれない、と思うと、とても怖い。あれからアルバイトの枠がないが、これからも、ちょっとこの店に来るのは無理。今日は、メンタルケアということだったので、ケアしてほしいと、オンライン参加。
- **【当日の状況】:** 頭が痛い、頭を抱えているAさんが、嘔吐したのを見て、びっくりした。コロナを思い出した。嘔吐する人がいると飲食店はやっていけないだろうと考えた。自分も、介抱しなければならぬのに、声しか掛けなかった。
- **【心情】:** 強い不安と回避。店に行きたくない。サイレンが怖い。眠れない。食べられない。においととも過敏。薬臭いにおい。
- 「……怖かったです。Eさんが店長と議論していて、店長が救急車を断ったとき、私は、逃げなきゃと思いました。あその後、やたらにガスの音が怖くて、家でもお湯が沸かせません。バイトも、もう無理です……」